西部貧困地域における新農村建設と貧困を治めることについて 寧夏貧困地域を例として

高桂英^{1 2 3} 秀麗^{1 2}

1. 中日国際共同研究所
2. 寧夏大学西部發展研究中心
3. 西北退化生態システム再建 省・部共同建設教育部重点實驗室

キーワード； 西部貧困地域 新農村建設 貧困を治める

主旨；

社会主義新農村建設は、わが国の現代化のうえで、重大な歴史的な任務であり、貧困を無くすことは新農村建設の前提と基礎である。なお、社会主義新農村を建設するうえで、最も難しく、最も重い任務は、西部貧困地域にある。本報告は、西部貧困地域の新農村建設の難しさと長期性を述べると同時に、西部貧困地域の実際に合せて、西部貧困地域での社会主義新農村建設のポイントと難関領域を検討してみた。貧困援助による開発に重点を置いて、ひとつ村単位での推進による新農村建設を促進する。農村經濟の發展を中心任務として、農村經濟の実力と競争力を強める。農民の資質の向上を重要な環として、当地で農業に従事して、新農村を建設する。町に出稼ぎに出る条件の改善を通じて町に定住できる技能型を持つ二つのチームを大いに育成する。農村インフラ施設の建設の強化を突破口として、農村の姿を新しく変化させる。精神文明の建設を重視して、新農村の建設に精神的な力と知識への支援を提供する。最後に、それに関わる政策建設を提起した。即ち、貧困を治める仕事を強くし、西部生態への援助メカニズムを作り上げ、町と郷の統一的社会保障制度を建設し、貧困地域農村の情報化、流通化、科学技術化を推進し、まず、貧困地域農村の郷と村の一部分債務を解決すべきである。